

プログラム

第1日目：2024年10月19日(土)

10:00～10:10 開会の辞

第23回日本婦人科がん分子標的研究会 会長
宮城 悦子（横浜市立大学 産婦人科）

10:10～10:40 会長講演 オンデマンド配信予定

「基礎研究シーズの社会実装への課題：
婦人科腫瘍研究者の登竜門である本研究会への感謝を込めて」

座長：四元 房典（福岡大学 産科婦人科）
演者：宮城 悦子（横浜市立大学 産婦人科）

10:40～12:10 シンポジウム オンデマンド配信予定

卵巢明細胞癌を制する

座長：梶山 広明（名古屋大学 産婦人科）
坂本 優（佐々木研究所附属杏雲堂病院 婦人科）

「卵巢明細胞がんに対する治療戦略（総論・手術）」

演者：田部 宏（国立がん研究センター東病院 婦人科）

「卵巢明細胞癌における遺伝子変異と有望な治療標的」

演者：板持 広明（岩手医科大学附属病院 がんセンター長／臨床腫瘍科）

「卵巢明細胞癌におけるゲノム / エピゲノム解析」

演者：織田 克利（東京大学医学部附属病院 ゲノム診療部）

「卵巢明細胞癌に対する PARP 阻害薬を用いた新たな治療法の検討」

演者：矢内原 臨（東京慈恵会医科大学 産婦人科）

12:20～13:10 ランチョンセミナー 1

「最新のエビデンスを踏まえて進行・再発子宮頸がん治療戦略を再考する」

座長：馬場 長（岩手医科大学 産婦人科）
演者：西尾 真（久留米大学 産科婦人科）

共催：リジェネロン・ジャパン株式会社

13:20~14:10 アフタヌーンセミナー 1

「卵巣癌診療 治療、維持そして予防へ」

座長：大原 樹（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学）

演者：小林 佑介（筑波大学医学医療系 産科婦人科学）

共催：武田薬品工業株式会社

14:20~15:20 「天神・菊池賞」候補演題

座長：万代 昌紀（京都大学 婦人科産科）

1. 腫瘍関連マクロファージに着目した高悪性度子宮体癌の進展メカニズムの解明

有野 祐子（横浜市立大学医学部 産婦人科／横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学教室）

2. 腔内細菌由来細胞外小胞による卵巣がん超早期進展機構の解明

横井 暁（名古屋大学 産婦人科）

3. 高異型度漿液性卵巣癌における細胞外小胞 DNA コピー数多型解析とその臨床応用への検討

植草 良輔（名古屋大学 産婦人科）

4. 全エクソンシーケンス解析による卵巣成熟奇形腫のゲノム異常の同定—悪性転化の機序解明に向けて

高橋宏太郎（新潟大学大学院医歯学総合研究科 産科婦人科）

15:30~16:20 教育講演 オンデマンド配信予定

「婦人科領域の肉腫治療最前線」

座長：井篁 一彦（和歌山県立医科大学 産科婦人科）

演者：西川 忠暁（東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座）

16:20~17:05 一般演題 1

座長：水島 大一（横浜市立大 産婦人科）

5. 子宮頸部胃型腺癌悪性化機序に関与する特異的 miRNA の同定

山田 空明（久留米大学 産婦人科／名古屋大学大学院医学研究科 産婦人科学講座）

6. 低悪性度子宮体癌における p53 異常発現の臨床的意義の検討

蜂須賀一寿（九州大学 産婦人科）

7. 子宮平滑筋肉腫由来細胞外小胞による腫瘍微小環境におけるがん関連線維芽細胞誘導

長尾有佳里（名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学）

17:10~17:55 アフタヌーンセミナー 2

「婦人科診療における多遺伝子パネル検査の有用性と卵巣がん予防戦略」

座長：坂本 優（公益財団法人 佐々木研究所附属杏雲堂病院）

演者：菅野 康吉（公益財団法人 佐々木研究所附属杏雲堂病院 遺伝子診療科）

共催：ラボコープ・ジャパン合同会社

第2日目：2024年10月20日(日)

9:00~9:50 モーニングセミナー

「卵巣癌治療のマラソン化～漢方を使って逞しく走り切る～」

座長：渡利 英道（北海道大学大学院医学研究院 産婦人科学教室）

演者：中島 彰俊（富山大学 学術研究部医学系 産科婦人科学教室）

共催：アストラゼネカ株式会社

10:00~11:00 一般演題 2

座長：矢幡 秀昭（九州大学 産科婦人科）

8. 卵巣がん細胞における WEE1 阻害剤の抗腫瘍効果と Cyclin E1 のバイオマーカーとしての意義

郝 茜（東京大学大学院医学系研究科統合ゲノム学）

9. 腫瘍関連マクロファージとの相互作用によって誘導される YKL40/integrin β 4 経路は卵巣癌の進展に寄与する

山中啓太郎（神戸大学 産婦人科）

10. 卵巣がん悪性度に寄与するコピー数多型由来マイクロRNA変化についての検証

荒木 甫（名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科）

11. HIF2A could be a prognostic and clinical therapeutic target in ovarian clear cell carcinoma

姜 夢心（京都大学産科婦人科）

11:10~12:10 一般演題 3

座長：寺井 義人（神戸大学 産科婦人科）

12. 高異型度漿液性卵巣がんにおける PARP 阻害剤の耐性機構を解明するための空間トランスクリプトーム解析

鈴木 公基（名古屋大学 産婦人科／国立がん研究センター 研究所）

13. 腹腔内細胞外小胞の空間的多様性と卵巣癌の腹膜播種における肝細胞由来細胞外小胞への注目

菱川 里沙（名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科）

14. 腹膜中皮細胞由来腹水中エクソソームに着目した卵巣癌プラチナ抵抗性機序解明

鈴木 一弘（名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科）

15. 内膜症関連卵巣明細胞癌組織のシングルセル及び空間的遺伝子発現プロファイルを用いた統合解析

柴田 磨己（福岡大学 医学部 産婦人科）

12:10~12:55 一般演題 4

座長：中山健太郎（名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 産婦人科）

16. p53 変異婦人科癌における p53 疑集体の病態意義

岩橋 尚幸（和歌山県立医科大学 産科婦人科学講座）

17. 高異型度漿液性卵巣癌 における腫瘍内リンパ球浸潤は独立した予後因子となる

原田 大史（産業医科大学 産科婦人科学）

18. 卵巣類内膜癌における癌関連遺伝子変異の腫瘍内分布とクローナリティ

芦原 隆仁（京都桂病院 産婦人科／近畿大学医学部 産科婦人科学教室）

13:10~14:00 ランチョンセミナー 2

「子宮体癌を再考する」

座長：宮城 悦子（横浜市立大学 産婦人科）

演者：吉原 弘祐（新潟大学大学院 医歯学総合研究科産婦人科学）

共催：エーザイ株式会社／MSD 株式会社

14:00~14:15 閉会式

井上賞表彰式

閉会の辞

第23回日本婦人科がん分子標的研究会 会長

宮城 悦子（横浜市立大学 産婦人科）

次期会長挨拶

第24回日本婦人科がん分子標的研究会 会長

加藤 聖子（九州大学 産科婦人科）